

東北日報

本紙は毎月千五百部発行し、東北地方に於いては最も普及した新聞である。発行所は石巻市本町一丁目。電話二二二番。代金は一円。郵費は別。印刷所は石巻市本町一丁目。電話二二二番。

獨身が意外の同情をひく比佐君

しかし野崎氏の争ひから可成り苦戦だらう

第三區民政黨公認候補比佐昌平氏も二十九日を以て身による得得とも稱すべし法規上の手續を全部了し意外の同情あつた關係がたのでいよいよ平町部會事ら見て今回もまた同様同情務所に本部を置き湯本

植田のニヶ所に支店

意外の 高点により當格の事務所を設けて運動を開始した今回の比佐氏は同志の野崎満藏氏との紛糾が禍ひをなして可成りの苦戦に陥るのではないかと一般の觀測であるがその反面同氏は正に四十六歳の獨身者であり前回並に前々回にお早くも頭を悩ましてゐる

何れも踏切で

自動車と列車激突

平署嚴重に取締處罰?

平町二丁目三井自動車部方面衝突をなし自動車は約三連轉手草野秀雄(二七)が二十間程引きずられて大破し十九日午後八時半ころ石城連轉手は頭部腰部に全治二郡好間村北好間高鹽市太郎 過間の重傷乗客も亦頭部に(五)を貨物車に乗せて 二週間の重傷を負つた騒ぎたもので既に販賣した

好間村

向ひ平町に平署から係官出張負傷者物品は未だ判明しないので引續き取調べ中であるが判明した被害件数は左の如くである

原因は 運轉手の不注意

意から又石城郡平窪村早川新吉(二〇)は二十九日午後十一時十五分頃オートバイに乗り平町鍛冶町地内鐵道踏切りを横切らんとした際警越東線下り五十六貨物列車が進行し來り機關車の横腹に激突同人は數間はね飛ばされ負傷した尙二十九日午後五時ころ田村郡瀧根村地内警越東線踏切りに

大破してあるトラック

クが遺棄してあるのを保線係員が発見その筋へ届出たので係官出張取調べたところトラックは石城郡江名町江名自動車商會所有のもので判明平署へ取調べ方を移して來たので平署では三十日責任者を召喚して取調べたところ二十九日鮮魚を積んで運轉手續笠章(四三)が運轉して

郡山に 向つての歸途

前記個所で貨物列車と激突大破した爲め呑氣にもトラッタを放棄し歸宅したものと判明した

白銀の火事騒ぎ

平町白銀町旭湯事荒木忠光方煙突から三十日午前十一時半ころ發火大事に至らんとしたのを附近の者がかけつけ漸く消止めたが舊元日でもあり殊に烈風中でもあるので一時は非常な大騒ぎであつた原因は煙突手入の不始末から

若い礦夫惨死

秋田縣由利郡下郷村當時石城郡内郷村宮城炭礦支夫佐々木利夫(二七)は二十九日午後六時半ころ町田坑(一)で支柱作業中落盤の爲塵死した

昭和三年十月以降から

引き續いて働いた萬引 自分の店は盗品で山をなす 判明した被害高五千圓

昨報一平署に檢舉された稀大の万引犯人双葉郡木戸村居住青木兼吉(三五)に就て引續き取調べた結果左の如く

昭和三三年十月以後より二丁目伊關吳服店から五百拾六點價格三千五百二十圓四十五錢	白銀町川又商店より五拾四圓百九十九點七九分九厘六拾一錢
昭和三三年十月以後より二丁目伊關吳服店から五百拾六點價格三千五百二十圓四十五錢	白銀町川又商店より五拾四圓百九十九點七九分九厘六拾一錢

候補輸入の爲

社民黨幹部上京

近々正式の名乗りを揚げる 同時に家賃値下げ運動中止 社民黨警城支部では二十九日選挙対策に就て協議した結果日午後六時から南町支部に果既報の如く

本部から中央執行委

は從來運動し來つた平町の員級の人物を移入して立候補せしめ極力これを應援する事に決定し三十日支部委中止する事として聲明を發表した

本村政友候補も

事務長以下も決定

事務長は山崎吉平氏 監視部長は伊藤儀七氏

家出娘取押へ

石城郡小名濱町古港野崎庄長以下の役員選挙を行つたが左の如く決定した

正午頃迄に

早くも五件のスリ

平町で血眼となり犯人嚴探中

恒例による平町の賣初めは頃迄に

舊二日行はれたが不景氣の聲にもおびえず午前二時頃から近郷よりの人出

比佐派

準備を整へる 第三區石城郡から名乗りを挙げた民政黨候補比佐昌平氏派では明日遊説部會を開き日割其の他の協議をなすが更に二日は郡内町村の代表者を招き緊急黨務の打合せをなして戦鬪を開始する事となつた

話の種

計らずも本争ひを起して目下悶着中の石城民政黨會では双方が除名沙汰迄出してゐるこれが實現すれば石城の天地から民政黨員は一名もゐない事となるのだが最後は一体どんな事になるだらうとは黨員間でも専ら噂してゐる

明日の天気

(小名濱測候所) 明日は午前中曇りで午後から晴れる見込です

平看護婦會

平町南町 体温計 寒暖計 電話四〇番

丸昇軒

電話四三九

